在宅生活訓練にかかる視覚障害者用安全つえ（白杖）の一時貸し出し対応方針

1 目的

視覚障がいをもつ者等について、視覚障害者用安全つえ（以下、「白杖」という）が手元に届くまでの間、白杖を一時貸し出しすることにより、視覚障がいをもつものの生活における安全性を確保することを目的とする。

2 対象者

在宅生活訓練を受講し、かつ県センターの歩行訓練士が認めた者で、次に挙げる要件のいずれかに該当する者とする。

- (1) 白杖を補装具申請もしくは購入する予定の者
- (2) 保有する白杖が、正当な理由で使用できなくなった者
- (3) その他、県センターが緊急的に白杖の一時貸し出しを必要と認めた者

3 貸し出し期間

白杖を貸し出しする期間は、2ヶ月以内とする。

ただし、貸し出しを受けた者自身の白杖が手元に届き次第、速やかに返却するものとする。

4 申請

白杖の一時貸し出しを受けようとする者は、別紙「白杖の一時貸し出し申請書」に必要事項を記載の上、県センターへ申請する（代筆可）。

5 決定

県センターは、前記4に基づき、貸し出しが適当と認める時には、別紙「白杖の一時貸し出し証」の発行及び白杖を申請者に貸し出しする。

6 貸し出し・返却

- (1) 白杖の貸し出し及び返却方法は原則郵送とし、郵送にかかる費用は、貸し出しを受けた者が負担するものとする。ただし、来所による受け渡しも可能とする。
- (2) 白杖に破損・ひび等が生じてしまった場合、貸し出しを受けた者が県センターに速やかに事情・経緯について報告を行うものとする。
- (3) 返却時に白杖に破損・ひび等があり、今後の使用に著しい影響があると認められる場合、県センターが貸し出しを受けた者に対し、事情・経緯について聞き取りを行うものとする。

7 貸し出し費用

前記6にかかる費用を除き、貸し出しに係る費用は徴収しない。

ただし、貸し出しを受けた者が、紛失、故意または重大な過失により白杖を貸与期間中に破損

等した場合は、等価の現物により弁済をするものとする。

8 その他

上記に定めのない事項については、別途定めるものとする。

附則

この対応方針は、令和4年4月1日から施行する。

附則

この対応方針は、令和5年4月1日から施行する。